

事例紹介資料 3

立命館アジア太平洋大学

「AP Houseにおける実践的な取り組み /
AP Houseにおける学生の学びとは？」

松本 淳 : スチューデント・オフィス 課長補佐

力丸 晃也 : 立命館学園 文学部教務職員

APハウスの実践的な取り組み

立命館アジア太平洋大学
スチューデント・オフィス
松本 淳
2012年8月31日

コンテンツ

- APUの概要
- APハウスの概要
- APハウスでの生活～異文化による衝突～
- 実践的な取り組み
- APハウスの特徴
- 今後の取り組みの方向性

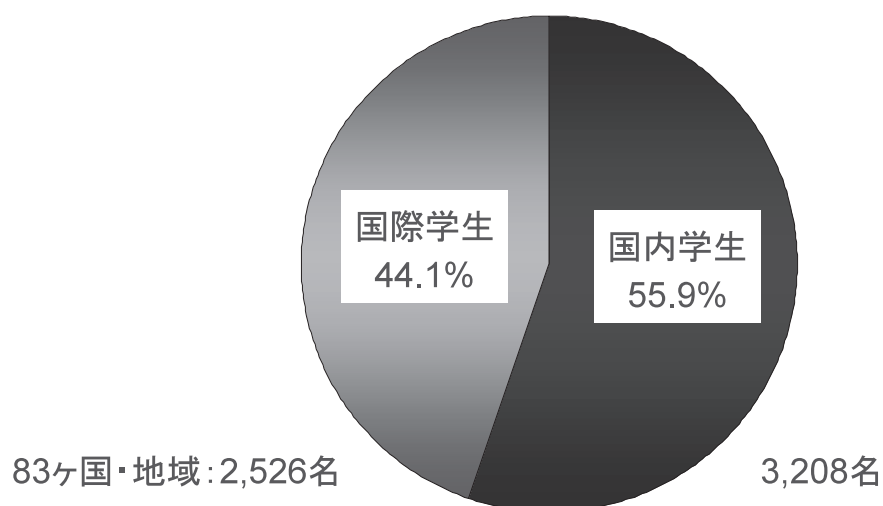
APUの概要

- 2000年4月 開学
 - ・大分県、別府市との公私協力
 - ・別府市:人口約12万人
- 学部:
 - アジア太平洋学部(APS)
 - 国際経営学部(APM)
- 大学院:
 - アジア太平洋研究科
 - 経営管理研究科
 - * 大学院は英語のみで開講



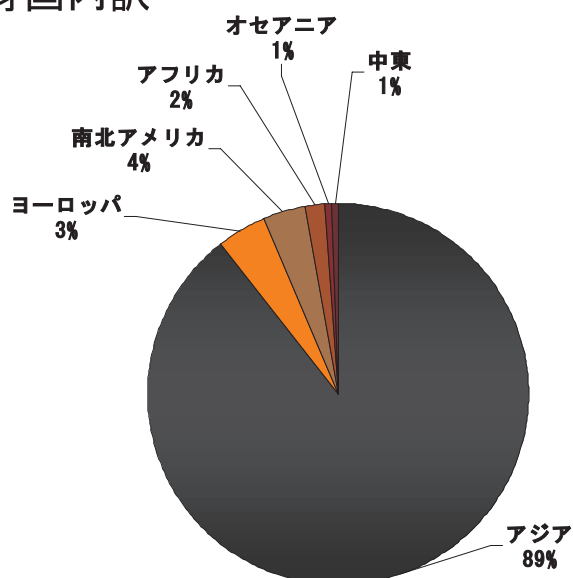
APUの概要

- 学生数(学部+大学院) 2012年5月1日現在
5,734名(非正規生96名含む)



APUの概要

□ 国際学生出身国内訳



APUの概要

□ 年2回(春・秋)の入学受入

□ 日英二言語教育

入学基準言語(英語または日本語)

APUの概要

□ 事務局

- スチューデント・オフィス
- キャリア・オフィス
- アカデミック・オフィス
- リサーチ・オフィス
- アドミッションズ・オフィス(国内)
- アドミッションズ・オフィス(国際)
- アドミニストレーション・オフィス
- 学長室

学籍
奨学金
正課外自主活動支援
.
.
.
.
住居支援
学生寮APハウス

APハウスの概要 ~学生寮設置の目的~

- 社会、大学生活への適応支援
- 安心、安全(地域社会の不安など)
- 多文化交流拠点



国際学生初年次全寮生
(国内新生生の約4割が入居)

APハウスの概要 ～施設～

- 2000年4月 APハウス1:424名(シングルタイプ)
- 2001年9月 APハウス2:508名(シングルタイプ)
* 30室は博士課程用
- 2007年4月 1・2に増築:378名(シェアタイプ)

APハウスの概要 ～入寮状況～

- 入居率約80%(年平均)
- 国際学生:約7割、国内学生:約3割
- 1回生:約7割
- 男女混住
- 国籍、性別等を考慮した部屋割り
- シェアタイプ居室は「国内学生と国際学生」のペア
- 教育寮

APハウスの概要 ～管理運営～

- APハウス運営委員会
(議長:APハウス長=学生部長)
- 日常的管理運営
 - スチューデント・オフィス(APハウス・オフィス)
⇒寮内オフィスに常駐事務職員8名(うち、専任職員2名)
 - 管理人<外部委託・24時間体制>
⇒昼間4名、夜間6名
 - レジデント・アシスタント(RA)

APハウスの概要 ～管理運営～

- 国際新入生は原則全員入寮(11ヶ月間)
⇒入学手続時に入寮申込書提出、前納金納付
- 国内新入学生は希望制、選考有(11ヶ月間)
⇒入試出願時に希望申請。

APハウスの概要 ～管理運営～

- 前納金(4月入学、国際学生) 188,000円
⇒入居費:32,000円、敷金:78,000円、寮費2ヶ月分:78,000円
- 毎月の寮費(国際学生) 39,000円
⇒住居費:29,000円、共益費:3,000円、水光熱費:5,000円、
寝具レンタル:2,000円
- 寮費管理
⇒APハウス・オフィスの業務として(未収督促含む)
⇒毎月1回、自動振替(不能の場合は更に1回)
⇒2ヶ月滞納 ⇒ 退寮

APハウスの概要 ～管理運営～

- 寮内ルール
 - 寮生以外の立ち入りは8:00～22:00
 - 来客の宿泊禁止
 - アルコールは居室内のみ
 - 全館禁煙(屋外に喫煙所設置)
 - ゴミ分別
 - フロアミーティング(月1回)への参加

APハウスでの生活～異文化による衝突～

- 宗教に関わること
 - ・それぞれの宗教儀式の理解
 - ・食事規制の理解

- 食に関わること
 - ・独特の匂いを発する食べ物の理解

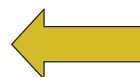
APハウスでの生活～異文化による衝突～

- 日本のルールに関わること
 - ・ゴミ分別

- 生活様式に関わること
 - ・シャワー、浴室の利用方法
 - ・夜間の洗濯機の利用など
 - ・自立した生活

APハウスでの生活～異文化による衝突～

- 期待と不安
- 新生活への適応
- 異文化環境への適応
- 衝突の連続



RAのサポート
が重要！！

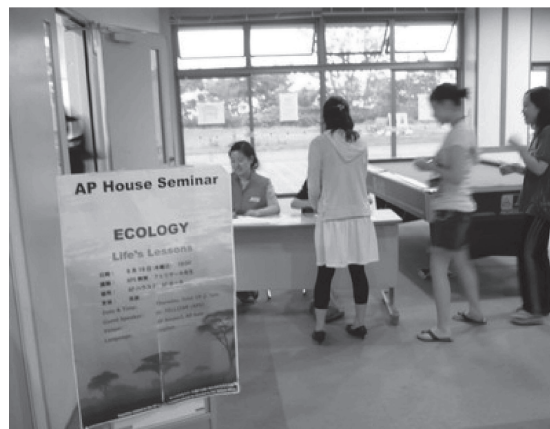


“相互理解”、
“思いやり”の醸成

実践的な取り組み

- APハウスセミナー
- 反対言語学習会
- APハウス輪読会
- 平和交流ツアー
- RA活動
- APハウス寮祭

実践的な取り組み～APハウスセミナー～



実践的な取り組み～平和交流ツアー～



実践的な取り組み～ RA活動～

□ RAの役割

- 快適な住環境の提供
- 生活規範の確立とAPハウスコミュニティの創造
- 市民社会への適応支援
- 学びと交流の推進役
- 寮生の見本

実践的な取り組み～ RA活動～

□ RAに求められるもの

- リーダーシップ
- 寮生のロールモデル
- コミュニケーション能力
- カウンセリング能力
- プロデュース力・コーディネート力

実践的な取り組み～ RA活動～

□ RA研修

- 2008年度よりスタート
- 期間:1週間程度
- 目的:
 - ・基本的なルールやスキルの習得
 - ・RA同士の信頼関係の構築
- 研修内容:
オフィスとRA(リーダーズ)とで検討

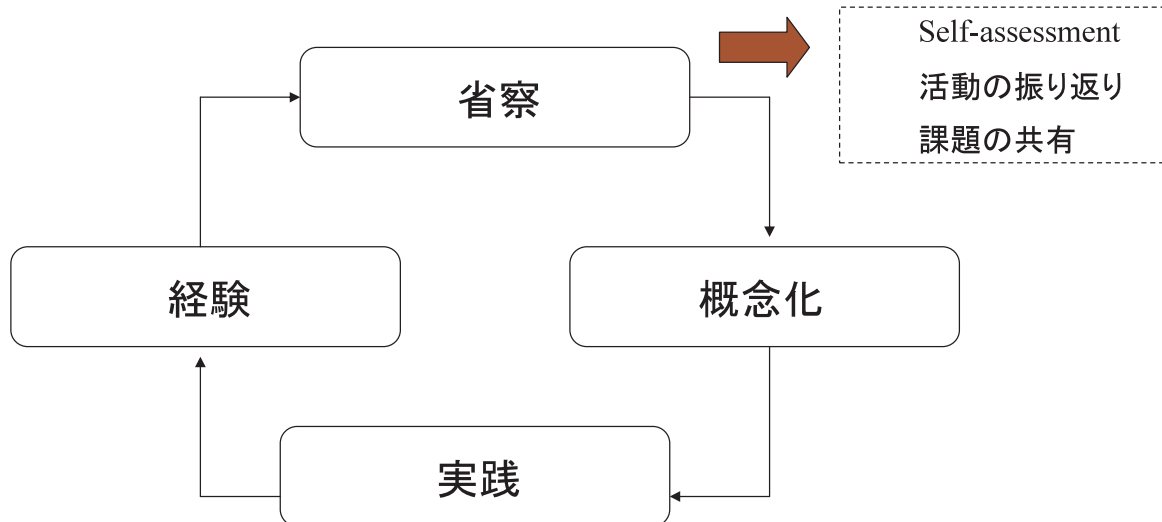
実践的な取り組み～ RA活動～

□ RA活動がもたらす効果

- ハウス生活の満足度の高さ
- ハウスの秩序を維持
- 好循環を生み出す源
- RA自身の自己成長のスキーム

実践的な取り組み～RA活動～

□ RA自身の自己成長のスキーム



APハウスの特徴

《良い点》

- 日常生活の中で“学ぶ”ことができる
 - コミュニケーション
 - 言語

《改善点》

- 意図的に準備した教育的な取り組みは長続きしない
- 学生(寮生)の参加が少ない

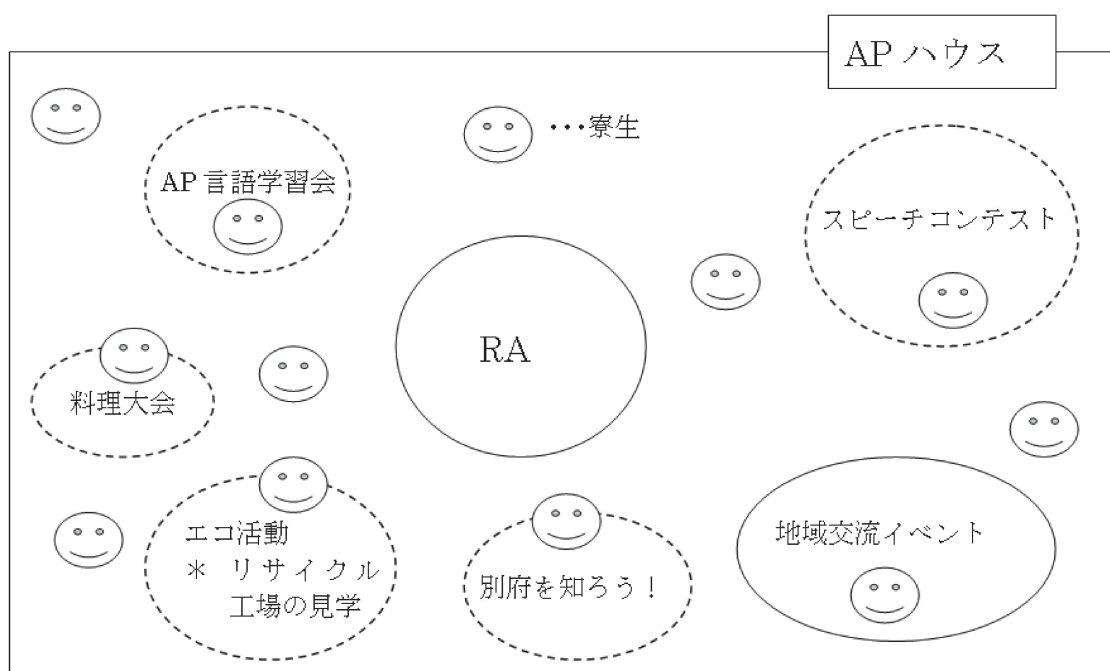
今後の取り組みの方向性

- 持続可能な教育的取り組みのスキーム作り
 - 生活に溶け込ませる
 - 座学のスタイルは避ける
 - “きっかけ”の提供



- ◆ 寮生の活動を活性化させるサポート
- ◆ 楽しみながら学べる取り組みをサポート
 - * イベントを企画運営する学生組織を立ち上げる

今後の取り組みの方向性



ご清聴ありがとうございました。

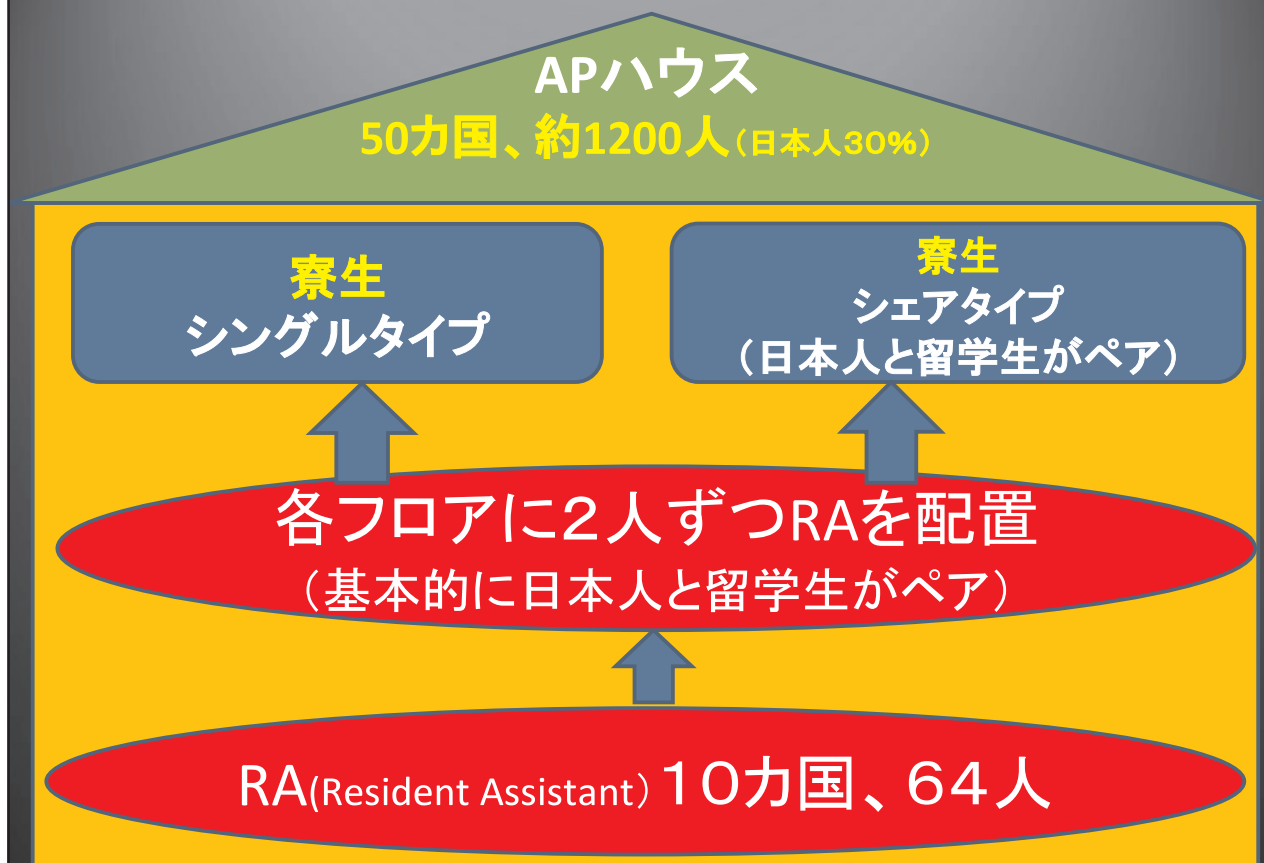
AP Houseにおける 学生の学びとは？

立命館大学 文学部職員
力丸 晃也

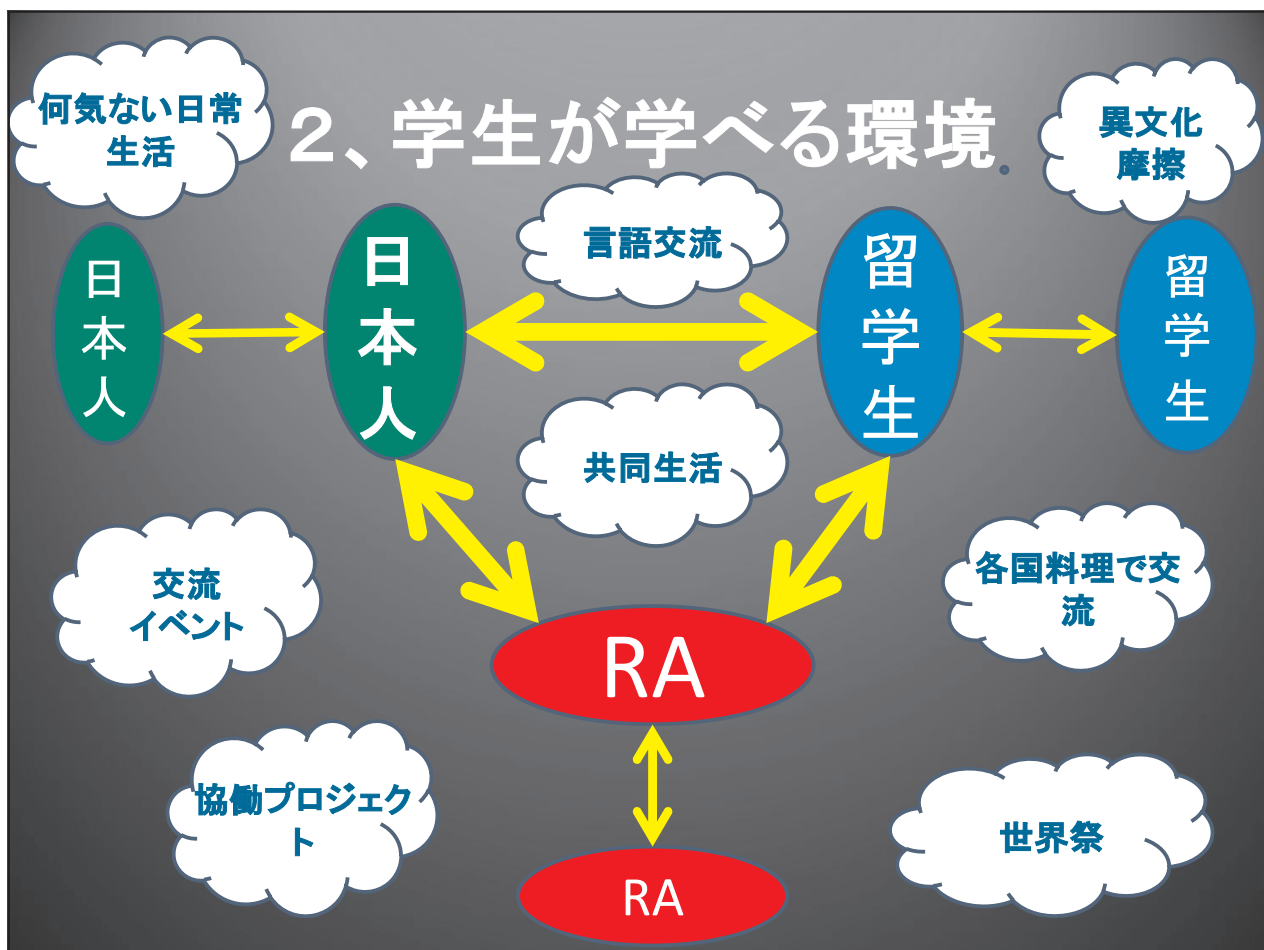
目次

- 1、APハウスの構造
- 2、学生が学べる環境
- 3、APハウスで学生が学ぶこと
- 4、RAについて
- 5、自分自身のAPハウス生活
- 6、まとめ

1、APハウスの構造



2、学生が学べる環境



Floor Party



世界祭 WORLD FESTIVAL





3、APハウスで学生が学ぶこと

異文化
共働能力

異文化
適応能力

寛容性

コミュニ
ケーション
能力

日本の
生活習慣

言語能力

世界的な
視野

他人を
思いやる
心

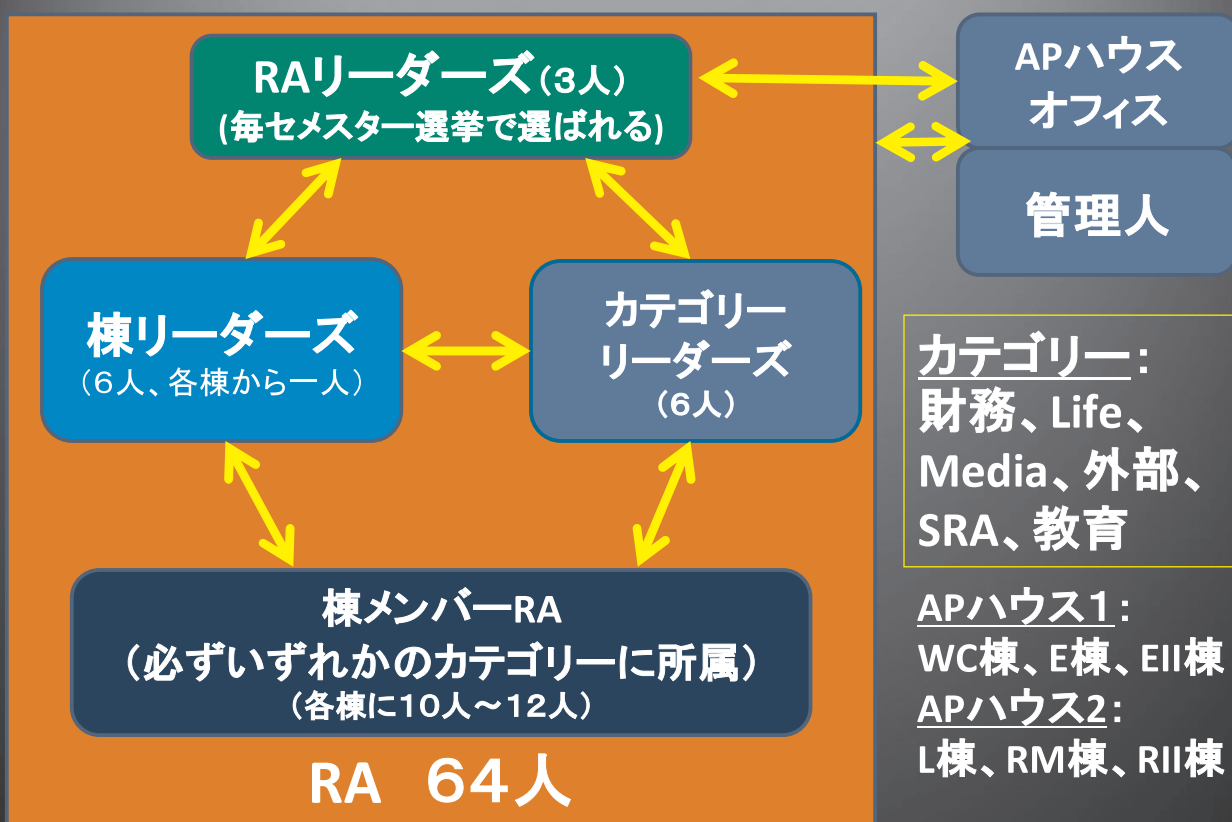


4、RAについて

- 約10カ国、64人から組織
- RAになるために3回審査があり、任期は1年
- 毎週火曜日は全員でミーティング(日・英で行う)
- 寮生の両親・兄弟・姉妹のような存在



RA組織図



RA業務

- 寮生の日常生活のサポート
- RA All MTG、フロアMTG、プロジェクトMTG
- キッチンデューティー(毎日キッチンの清掃)
- 寮祭、棟・フロアイベントなどの企画・運営
- 寮生の入寮時の対応、案内(ピックアップ)
- 寮生の交流促進
- 通訳
- 緊急時の対応

5、自分自身のAPハウス生活

1年生：寮生としてミャンマー人とシェア

2年生前期RAペア：マレーシア人

2年生後期RAペア：バングラデシュ人

3年生前期RAペア：台湾人

3年生後期RAペア：中国人

6、まとめ

- 留学生だけの厚生寮ではなく、
混住寮で日本人にも学びのある寮を。
- 寮にRA(サポート学生)は必須。いかにRAに
価値を持たせ、誇りを持たせるか。
- 何よりも大事なものは、多様な人との繋がりが
から生まれる学び。尊敬でき、切磋琢磨できる
友人の存在が学びの源。

